

文化遺産から見る世界

文化遺産は人類共通の遺産であり、過去の人々の生活を現代の私たちに教えてくれる貴重な存在です。笛吹市にある帝京大学文化財研究所では、考古遺物・民俗資料・文化遺産などから過去の様々な生活や文化を再考する活動とともに、世界的な文化財を後世に残していく保存・保護活動にも取り組んでいます。この連続講座では様々な文化遺産を対象とした活動を紹介し、身近にある地域の文化から世界の文化財の保存まで幅広く考えます。

第一回
4月21日
13:30~15:00

甲州金山と甲州金
萩原 三雄 (帝京大学教授)

甲州金山の代表格として知られる黒川金山と湯之奥金山から金銀山遺跡の歴史を紐解き、武田氏と甲州金、金山衆(採掘者)とのかかわりについて学びます。

第二回
6月26日
13:30~15:00

鎌倉大仏の色の謎
藤澤 明 (帝京大学講師)

高德院の大仏は古都鎌倉を代表する文化財であり、誰もが知る文化財です。しかしその建造から現状に至るまで多くの謎が残されています。素材である金属の研究を通じて明らかになった鎌倉大仏の謎に迫ります。

第三回
8月21日
13:30~15:00

山梨県産水晶の文化史
金井 拓人 (帝京大学助教)

水晶は山梨県を代表する特産品の一つです。遡ると3万年前の旧石器時代から山梨県産水晶が石器などに利用されています。石器以外にも古墳時代の玉や江戸時代以降の水晶細工に注目して山梨県産水晶の文化史について学びます。

第四回
10月9日
13:30~15:00

シルクロードの交易都市「スイヤブ」を掘る
山内 和也 (帝京大学教授)

中央アジアのキルギス共和国にスイヤブと呼ばれるシルクロードの交易都市があります。7世紀の後半、この地の支配をめぐる、テュルク遊牧民と唐、チベットが抗争を繰り返しました。このスイヤブの発掘で得られたシルクロードのヒミツを学びます。

第五回
12月11日
13:30~15:00

**馬が来た道
-5千年の歴史をたどる-**
植月 学 (帝京大学准教授)

ユーラシアの草原地帯で家畜化された馬は、4千年ほどかけて東端の日本列島に到来しました。馬はいつ、どこで、どのように家畜化され、広がっていったのでしょうか?近年の遺跡出土馬の分析から明らかになってきた人と馬の歴史を紹介します。

第六回
2月17日
13:30~15:00

**ツタンカーメン王の
木製遺物の新知見**
岡田 靖 (帝京大学准教授)

日本の支援によりピラミッド近隣に建設中の大エジプト博物館。メイン展示であるツタンカーメンの秘宝のうち、黄金で彩られた木製のチャリオット(二輪馬車)と儀式用ベッドの保存修復を通じて得られた最新の研究成果を紹介します。

■ 会場: 山梨県生涯学習推進センター 交流室AB

■ 対象: どなたでも(受講無料)

■ 定員: 70名(要事前申込)

■ 申込: 県生涯学習推進センターにTEL、FAX、メール、HPにて申込

■ 主催: 帝京大学文化財研究所

■ 講座内容についての問合せ



帝京大学文化財研究所

TEL: 055-261-0015

Mail: teikyo.bunkazai@teikyo-u.ac.jp

HP: <https://www.teikyo-u.ac.jp/bunkazai/>

申込み先 **山梨県生涯学習推進センター**

〒400-8501 甲府市丸の内 1-6-1 山梨県防災新館やまなしプラザ内

TEL: 055-223-1853 FAX: 055-223-1855

E-Mail: llcenter@yamanashi-bunka.or.jp

HP: <https://www.manabi.pref.yamanashi.jp/center/>



Twitter Facebook
「山梨県生涯学習推進センター」で検索



HP

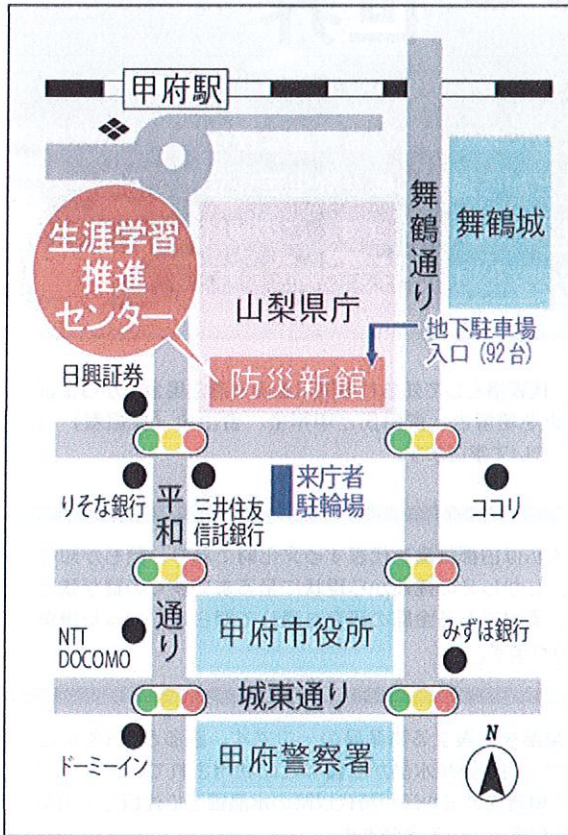


Facebook

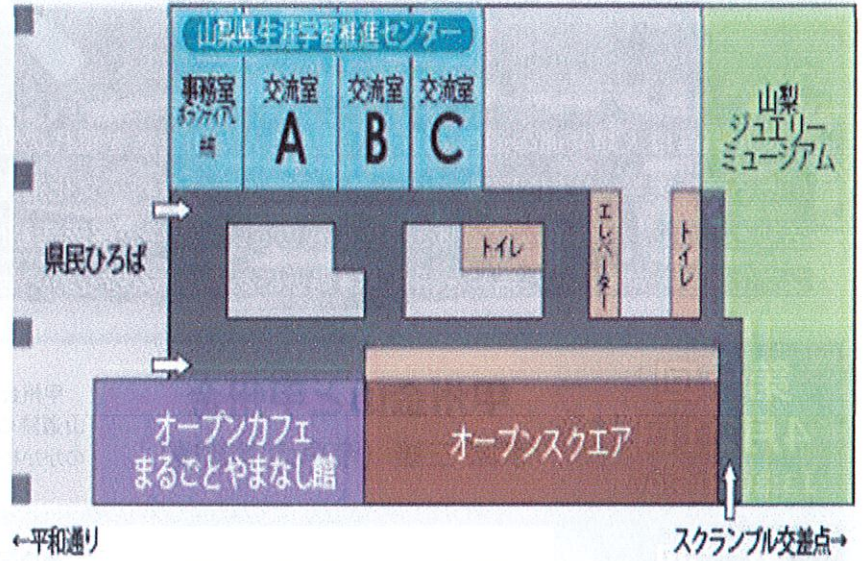


Twitter

山梨県生涯学習推進センター地図



防災新館1階やまなしプラザ平面図



■山梨県防災新館 1階

山梨県甲府市丸の内1-6-1
JR甲府駅南口より徒歩5分

■有料地下駐車場完備

受講者は、1時間無料
以降は自己負担 (30分ごとに150円)

■駐輪場は、防災新館南側道路向かいにあります

連携講座「文化遺産から見る世界」受講申込書

氏名

電話番号

受講日 4/21・6/26・8/21・10/9・12/11・2/17 ※希望日に○をつけて下さい

ご記入の上、このままFAXして下さい。FAX:055-223-1855